

# 最近の動向について

---

平成28年11月18日

港湾局

# 韓進海運の経営破綻について

- 韓国の2大海運企業であった**韓進海運(船腹量世界第8位\*)**が、2016年8月30日にソウル中央地方裁判所に法定管理申請し、経営破綻。  
\*2016年4月時点
- 近年、競争激化等による**運賃低迷**で昨年来業績が急激に悪化、**今年上半期に巨額赤字を計上**。韓進グループからの支援もなく、債権団が求めた追加資金負担を準備できず、法的管理に到った。
- 韓進海運の破綻に伴い、同社運航のコンテナ船が、**差し押さえや入港料未払いの懸念から入港できない事態が発生**。同社運航のコンテナ船97隻のうち、6隻が洋上待機(11月8日時点)。

## 韓進海運の概要



本社所在地	大韓民国ソウル特別市
設立	1977年5月
業種・事業内容	海運業
代表者(会長)	チェ・ウンヨン
売上高(2015年)	6,800(Million \$)

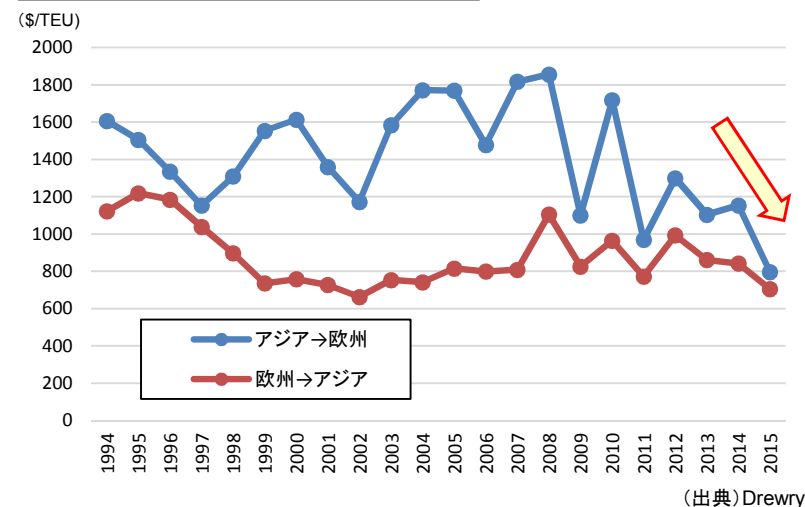
### 沿革

- 1969年 韓進グループとして、釜山港にてコンテナターミナルの運営開始
- 1977年 韓進コンテナラインズ設立
- 1988年 大韓商船と合併し、現在の韓進海運に

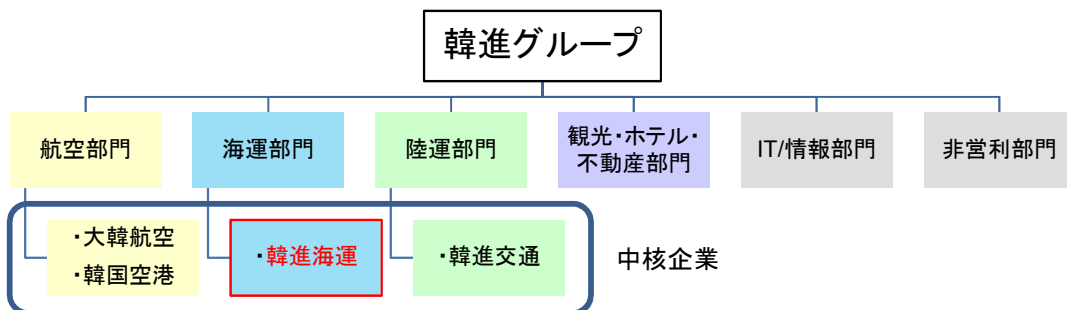


韓進海運のコンテナ船Hanjin Athens

## 近年の運賃低迷(欧州航路)

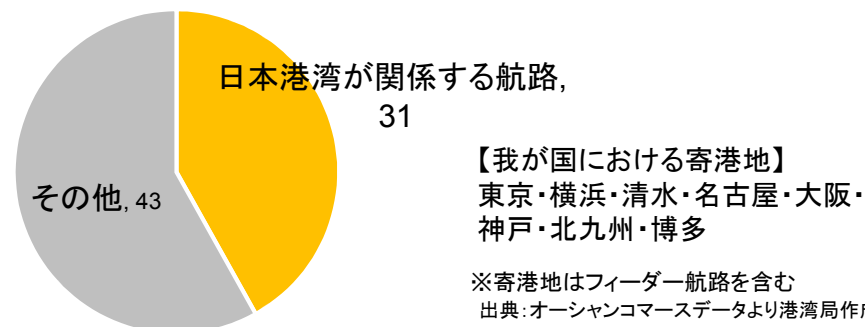


## 韓進グループの概要



## 韓進海運の航路(2016年8月時点)

全世界で有する航路: 74航路



# 邦船三社の定期コンテナ船事業統合について

- 2016年10月31日、邦船三社（川崎汽船、商船三井、日本郵船）が定期コンテナ船事業統合を発表。新たに定期コンテナ船事業（海外ターミナル事業含む）統合を目的とした合併会社を設立予定。
- 統合コンテナ船事業会社は世界第6位のコンテナ船社となり、アジアー北米航路における同社のシェアは単独船社として最大となる約15%に達する。

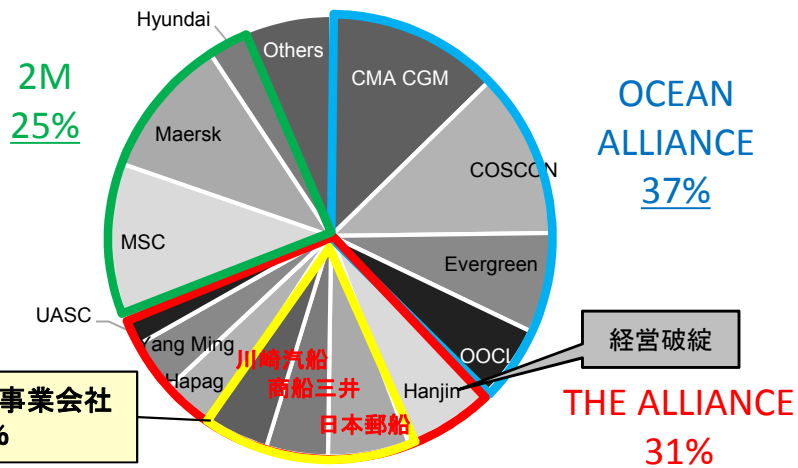
## 合併会社の概要(予定)

項目	概要
出資比率	川崎汽船31% 商船三井31% 日本郵船38%
出資額	約3,000億円(船舶、ターミナル株式の現物出資等を含む)
事業内容	定期コンテナ船事業(海外ターミナル事業含む)
船隊規模	約140万TEU(業界6位、グローバルシェア約7%に相当)

## 統合の日程

契約締結日 2016年10月31日  
 合併会社設立日 2017年 7月 1日(予定)  
 サービス開始日 2018年 4月 1日(予定)

## アジアー北米航路におけるシェア



## 船腹量ランキング

2016年10月時点				
順位	会社名	船腹量(千TEU)	シェア	【参考】売上高(億円)
1	Maersk	3,172	16%	24,441
2	MSC	2,800	14%	非公表
3	CMA CGM(+APL)	2,172	11%	21,717
4	COSCO(+CSCL)	1,555	8%	13,386
5	Hapag-Lloyd(+UASC)	1,477	7%	12,720
6	邦船三社	1,382	7%	20,403
7	Evergreen	983	5%	4,416
8	Hamburg Süd	598	3%	6,449
9	OOCL	573	3%	6,105
10	Yang Ming	561	3%	4,209
11	Hyundai	454	2%	5,192
12	PIL	370	2%	-

(出典) Alphaliner、各社IR情報  
 (注) 売上高: 海外船社は2015年12月期、邦船三社は2016年3月期。  
 売上高が確認できなかった船社は「-」で表記。  
 1ドル=103円、1ユーロ=115円、1元=15円、1台湾ドル=3.3円、1ウォン=0.09円で算出。

2015年9月時点

順位	会社名	船腹量(千TEU)	シェア
1	Maersk	3,053	15%
2	MSC	2,680	13%
3	CMA CGM	1,791	9%
4	Hapag-Lloyd	958	8%
5	Evergreen	946	5%
6	COSCO	866	5%
7	CSCL	702	3%
8	Hamburg Süd	625	3%
9	Hanjin	622	3%
10	OOCL	591	3%
11	商船三井	585	3%
12	APL	556	3%
13	Yang Ming	530	3%
14	日本郵船	516	2%
15	UASC	450	2%
16	川崎汽船	399	2%
17	PIL	384	2%
18	Hyundai	380	2%

## 統合対象事業の規模

	川崎汽船	商船三井	日本郵船	合併会社(単純計算)
売上高(億円) <sup>※1</sup>	6,149	7,191	7,063	20,403
運航船腹量 <sup>※2</sup>	357千TEU	517千TEU	508千TEU	1,382千TEU
運航隻数 <sup>※3</sup>	66	92	98	256
我が国発着の基幹航路数 <sup>※2</sup>	北米: 3 欧州: 0	北米: 2 欧州: 1	北米: 3 欧州: 1	

※1: 2016年3月期(統合対象事業の含まれるセグメント情報のため統合対象事業全ての売上高とは異なる)、※2: 2016年10月時点、※3: 2016年9月時点

# LNGバンカリング促進のための港湾間協力に関する覚書の締結

- 2016年10月5日、シンガポールにて開催された第19回SIBCON2016※<sup>1</sup>において、「**LNGを船舶燃料として開発するための協力に関する覚書(MOU)※<sup>2</sup>**」を国土交通省港湾局を含めた7カ国(8者)で締結。
- 同覚書は、LNG燃料船の導入促進を図るため、LNGバンカリング拠点のネットワークを世界で構築することを目指している。

※<sup>1</sup> SINGAPORE INTERNATIONAL BUNKERING Conference and Exhibition    ※<sup>2</sup> MOU:MEMORANDUM OF UNDERSTANDING

## 「LNGを船舶燃料として開発するための協力に関する覚書(MOU)」について

### 署名日／場所

2016年10月5日(水) / シンガポール リゾートワールドコンベンションセンター

### 目的

LNGバンカリングに関する基準等の調和を図ることで港湾における**LNGバンカリング拠点のネットワークを構築し、船舶燃料の重油等からLNGへの転換を促進**

### 署名者

- **国土交通省港湾局(日本)※ 港湾局長が署名**
- シンガポール海事港湾庁(シンガポール)
- 蔚山港湾公社(韓国)
- ロッテルダム港湾公社(オランダ)
- アントワープ港湾公社(ベルギー)
- ゼーブルージュ港湾公社(ベルギー)
- ノルウェー海事庁(ノルウェー)
- ジャクソンビル港湾局(米国)

7カ国(8者)



署名の様子



署名関係者

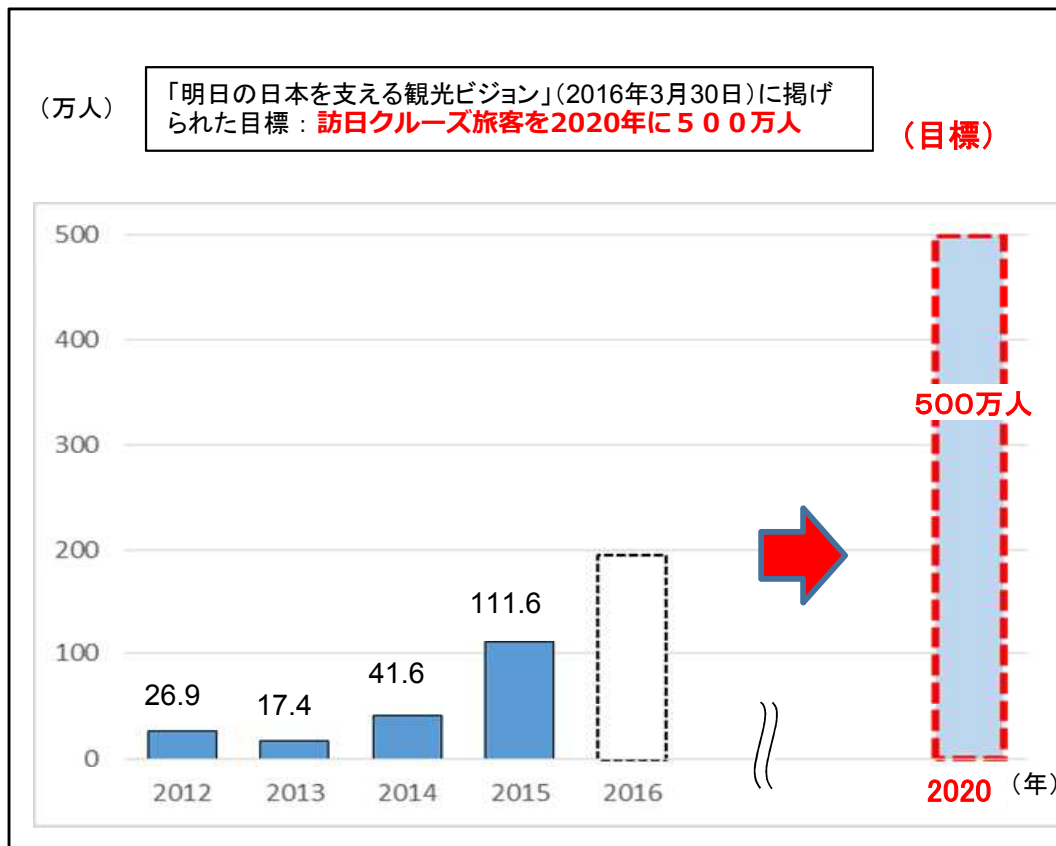
(出典:MPAのHPより)

# クルーズ船の寄港動向

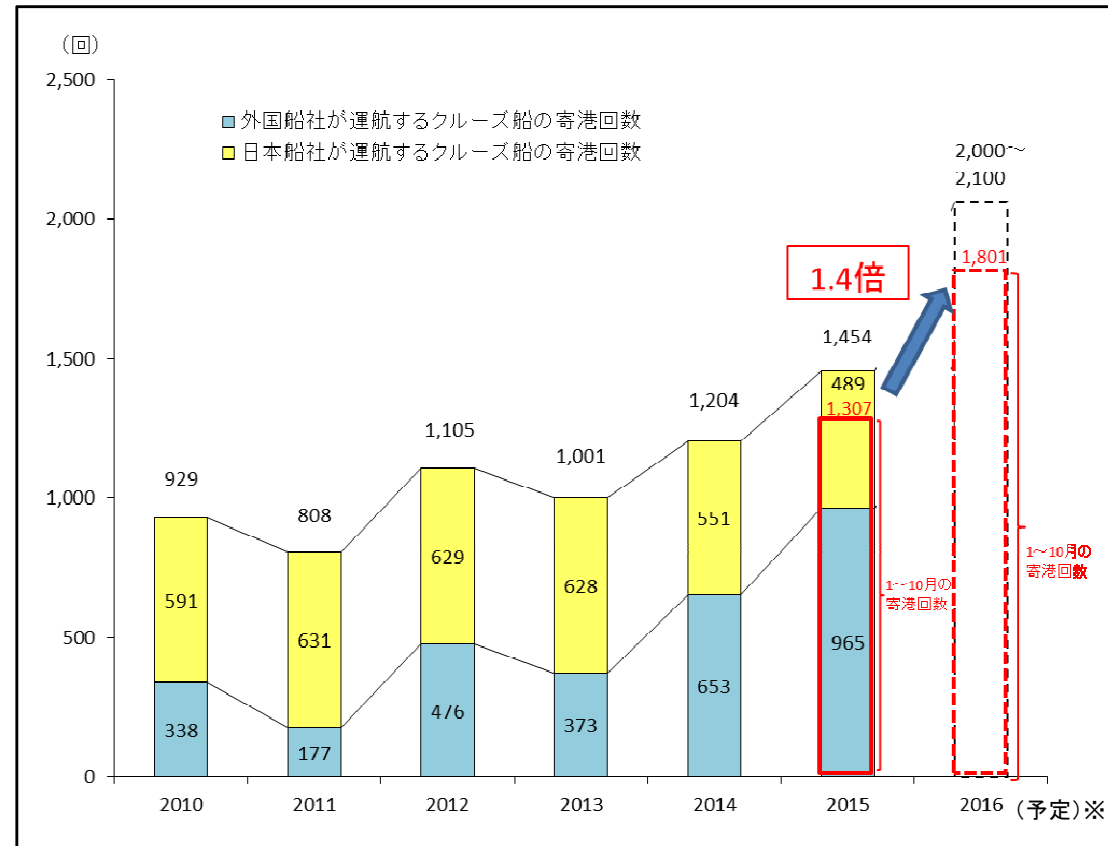
- 2015年の訪日クルーズ旅客数は前年比2.7倍の約111.6万人(概数)。
- 2015年のクルーズ船の寄港回数は1,454回で過去最高を記録。2016年は、1～10月までで前年同期比1.4倍の1,801回となっており、2016年通年では、2,000～2,100回の寄港が見込まれている。

※クルーズ:レジャーを目的とした船旅で宿泊を伴うもの

## クルーズ船による外国人入国者数 (概数)



## 我が国港湾へのクルーズ船の寄港回数



注1) 法務省入国管理局の集計による外国人入国者数で概数(乗員除く)。  
注2) 1回のクルーズで複数の港に寄港するクルーズ船の外国人旅客についても、(各港で重複して計上するのではなく)1人の入国として計上している。

出典: 港湾管理者への聞き取りを基に国土交通省港湾局作成

※ 平成28年10月1日時点の見込み



# 我が国に寄港するクルーズ船の最新動向

## 我が国に寄港する主なクルーズ船

○2017年も引き続き、欧米大手クルーズ船社がアジア市場に大型クルーズ船を投入。

### 2016年に初寄港したクルーズ船(4隻)

#### ○オベーション・オブ・ザ・シーズ(新船)

(ロイヤル・カリビアン社)総トン数16.8万吨、乗客定員4,180人  
※ 建造:マイヤー造船所(パーペンブルグ、独)

#### ○ゴールデン・プリンセス

(プリンセス・クルーズ社)総トン数:10.9万吨、乗客定員:2,600人  
※ 建造:フィンカンティエリ(モンファルコーネ、伊)

#### ○コスタ・フォーテュナ

(コスタ・クルーズ社)総トン数10.3万吨、乗客定員2,716人  
※ 建造:フィンカンティエリ(パレルモ、伊)

#### ○MSCリリカ

(MSCクルーズ社)総トン数6.6万吨、乗客定員1,984人  
※ 建造:アトランティック造船所(現STXフランス)(サンセール、フランス)

### 2017年に初寄港予定のクルーズ船(4隻)

#### ○ノルウェー جان・ジョイ(新船)

(ノルウェー・クルーズ・ライン社)総トン数16.5万吨、乗客定員4,248人  
※ 建造:マイヤー造船所(パーペンブルグ、独)

#### ○ゲンティン・ドリーム(新船)

(ドリーム・クルーズ社)  
総トン数15.1万吨、乗客定員3,352人  
※ 建造:マイヤー造船所(パーペンブルグ、独)

#### ○マジェスティック・プリンセス(新船)

(プリンセス・クルーズ社)  
総トン数14.3万吨、乗客定員3,560人  
※ 建造:フィンカンティエリ(ヴェネチア、伊)

#### ○コスタ・ネオロマンチカ

(コスタ・クルーズ社)総トン数5.7万吨、乗客定員1,572人 ※ 建造:フィンカンティエリ(ヴェネチア、伊)



マジェスティック・プリンセス

## 第192回臨時国会における安倍内閣総理大臣所信表明演説(抄) 2016年9月26日

・「岸壁の整備、客船ターミナルの建設など、クルーズ船受入れのための港湾整備を進めます。」  
・「宮崎の油津港では、海外からのクルーズ船が、四年前の三倍に増えました。英語での観光案内を地元の高校生たちが買って出るなど、地域に活気が生まれています。」



英語を駆使して案内する高校生(宮崎県油津港)

## クルーズの全国展開に向けた動き

### クァンタム・オブ・ザ・シーズの日本周遊クルーズ

ロイヤル・カリビアン社は、2016年6月～7月にかけて、上海港発着10泊11日の日本周遊ロングクルーズを実施。室蘭港(初)、横浜港(2回目)、名古屋港(初)、大阪港(初)、高知港(初)に寄港。



高知港寄港の様子

### コスタ・クルーズ社の日本海側周遊クルーズ

2016年から日本海側で主に日本人を対象に日本発着周遊クルーズを開始。

#### 2016年

・船舶:コスタ・ビクトリア  
・期間:7～9月(計10回)

#### 2017年

・船舶:コスタ・ネオロマンチカ  
・期間:4～10月(計34回)



#### ・寄港地

左記5港(博多、舞鶴、金沢、境港、釜山)に加え、新潟、酒田、青森、ウラジオストック、ソクチョ(韓国)に寄港

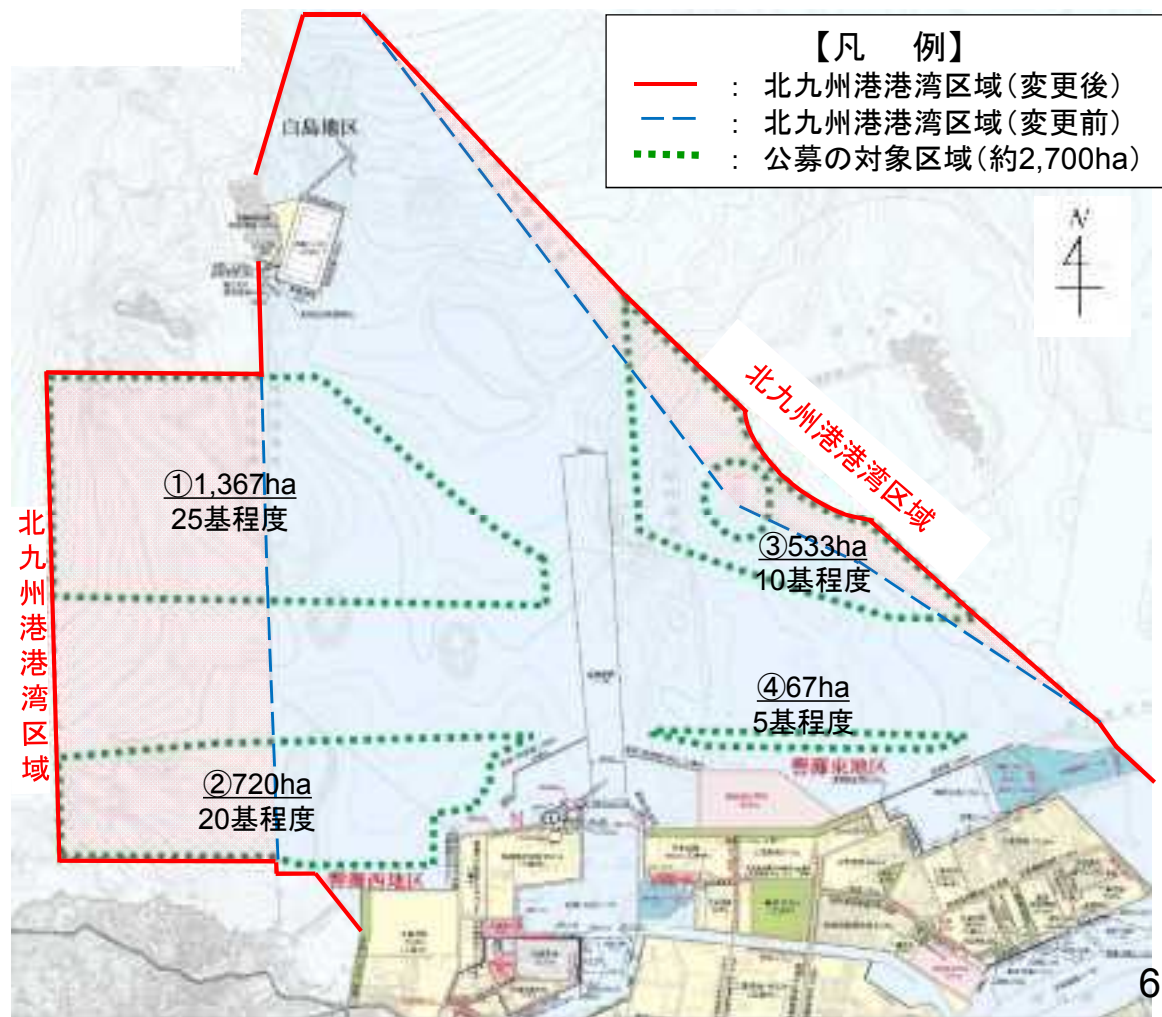
# 北九州港における洋上風力発電の導入に向けた取組

- 洋上風力発電の導入エリアとして港湾が有望視されるなか、平成28年5月、港湾法が改正（7月施行）され、港湾区域等の占用の許可の申請を行うことができる者を公募により決定する制度（占用公募制度）が創設。
- **改正港湾法に基づく全国で初めての実施例**として、洋上風力発電施設を設置・運営する事業者の公募を、平成28年8月に開始（現在、審査・評価中）。
- なお、北九州港では、洋上風力の導入に関して、平成28年6月に港湾区域の一部を拡大。

## 占用公募制度の概要

- ① 港湾管理者が公募占用指針を策定
- ② 事業者が港湾管理者に公募占用計画を提出
- ③ 港湾管理者は、最も適切な計画の提出者を選定し、当該計画を認定（認定の有効期間は20年以内）
- ④ 事業者は、認定計画に基づき占用の許可を申請 → 港湾管理者は占用を許可

## 【公募の対象区域】



## 【公募スケジュール(予定)】

平成28年 8/19	公募開始 (公募占用指針(公募要項)の配付、参加登録受付)
平成28年 10/18	公募占用計画(企画提案書)の受付期限
平成28年10月下旬 ～平成29年1月	審査・評価
平成29年 1月下旬以降	選定結果公表